

## 法定基準値

項 目	基 準 値	備 考
p h	5.8~8.6	水質汚濁防止法第3条 第1項（環境省令）
BOD（mg/L）	30以下	水質汚濁防止法第3条 第3項（環境省令）
S S（mg/L）	70以下	水質汚濁防止法第3条 第3項（環境省令）
大腸菌数（CFU/mL）	800以下	水質汚濁防止法第3条 第1項（環境省令）

## 令和7年度 羊蹄衛生センター水質分析結果

	放流水											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PH	6.5	7.2	7.2	6.7	6.8							
SS (mg/ℓ)	10.0	11.0	8.0	4.0	4.0							
COD (mg/ℓ)	16.0	17.0	18.0	9.6	12.0							
BOD (mg/ℓ)	1.5	2.0	1.3	0.5	1.6							
透視度	24.0	27.0	30.0	30.0	30.0							
蒸発残留物 (mg/ℓ)	250.0	340.0	330.0	270.0	290.0							
強熱減量 (有機物量)	130.0	110.0	120.0	120.0	130.0							
全窒素 (mg/ℓ)	26.0	56.0	45.0	18.0	21.0							
アンモニア性窒素 (mg/ℓ)	7.0	36.0	30.0	0.7	6.5							
亜硝酸性窒素 (mg/ℓ)	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満							
硝酸性窒素 (mg/ℓ)	16.0	13.0	10.0	11.0	13.0							
塩化物イオン (mg/ℓ)	33.0	58.0	41.0	25.0	31.0							
大腸菌群数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

2025年9月17日

## 計量証明書

羊蹄山麓環境衛生組合 様

〒060-0031

札幌市中央区北1条東15丁目

株式会社 公清企業

〒063-0837

札幌市西区発寒17条14丁目3番35号

環境測定分析所

ご依頼の試料について、計量の結果を  
下記のとおり証明いたします。

環境計量士  
濃度関係  
第10787号

森 哲也 

## 記

試料の種類	放流水				
試料採取月日	2025/8/21				
試料採取時刻	10時00分				
透視度(度)	>30				
色 相	淡黄色				
臭 気	無臭				
分析試験項目	分析試験結果			定量下限値	分析試験方法
水素イオン濃度 (pH) (水温)	6.8 (21℃)			—	JIS K0102-1-12 (ガラス電極法)
浮遊物質量 (SS) (単位:mg/L)	4			1	昭和46年環境庁告示第59号 付表8 (ろ過重量法)
化学的酸素要求量 (CODMn) (単位:mg/L)	12			0.5	JIS K0102-1-17.2 (滴定法)
生物化学的酸素要求量 (BOD) (単位:mg/L)	1.6			0.5	JIS K0102-1-18 及び1-21.4 (隔膜電極法)
蒸発残留物 (単位:mg/L)	290			1	下水試験方法 第2編 第1章 第9節
強熱減量 (単位:mg/L)	130			1	下水試験方法 第2編 第1章 第11節
全窒素 (T-N) (単位:Nmg/L)	21			0.05	JIS K0102-2-17.5〔流れ分析法(酸化分解・銅・カドミウムカラム還元・ナフチルエチレンジアミン発色)〕
アンモニア性窒素 (NH <sub>4</sub> -N) (単位:Nmg/L)	6.5			0.7	JIS K0102-2-13.2.2 及び13.3 (中和滴定法)
硝酸性窒素 (NO <sub>3</sub> -N) (単位:Nmg/L)	13			0.2	JIS K0102-2-15.7〔流れ分析法 (銅・カドミウムカラム還元・ナフチルエチレンジアミン発色)〕
亜硝酸性窒素 (NO <sub>2</sub> -N) (単位:Nmg/L)	定量下限値 未滿			0.2	JIS K0102-2-14.3〔流れ分析法 (ナフチルエチレンジアミン発色)〕
塩化物イオン (単位:mg/L)	31			5	JIS K0102-2-6.4 (イオン電極法)
大腸菌数(※) (単位:CFU/mL)	0			—	昭和37年厚生省・建設省令第1号 特定酵素基質寒天培地を用いた平板培養法(混釈平板法)
(特記事項)					
試料採取者：株式会社 公清企業 (※)計量法第107条の計量対象外の項目					